

2017年5月28日

## 福音書からのメッセージ

聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。  
(ヨハネによる福音書 17 章 11 節 b)



だれかが自分のために祈っていると気づくことは、とても大事なことだと思います。健康で何にも不安なことがないときには、あまり気にならないかもしれません。でも苦しいとき、悲しいとき、自分の力で歩くことができなくなったときに、誰かが自分のことを思い、祈ってくれていたなら、温かいものを感じられるのはわたしだけではないと思います。

今日の福音書には、イエス様が弟子たちのためにお祈りをする場面が書かれています。「聖なる父よ、わたしに与えてくださったみ名によって彼らを守ってください」。そのイエス様の祈りの言葉に、今日は心を向けてみたいと思います。

イエス様は弟子たちの前で、天を仰いで祈り始められました。それまでイエス様は、弟子たちに対して告別説教と呼ばれる長い説教をされています。逮捕され、十字架へと向かっていくその直前に、イエス様は弟子たちにたくさんのことを語ります。イエス様は説教をするとき、弟子たち一人ひとりの顔を見ながら、語り掛けていったことでしょうか。ゆっくりと、理解できるように、丁寧に。そのイエス様の視線の先には、弟子たちとともに、わたしたちの姿もあるように思います。

そしてイエス様は説教を語り終えたあと、天を仰がれます。天に視線を移すのです。十字架の直前に、弟子たちに絶対に伝えておかなければいけないメッセージを語った後、視線を天に向け、弟子たちの目の前で彼らのために祈るイエス様の姿がそこにはあります。

イエス様が弟子たちの目の前で祈られた祈り。それは今も、ずっと、祈り続けられています。「弟子たちを守ってください」というイエス様の言葉は、今、わたしたちに向けられています。わたしたちの目には、イエス様の姿は見えないかもしれません。しかしイエス様は約束されました。わたしたちと共にいて、わたしたちを守ってくださいと。そのためにイエス様は、ずっとわたしたちのために祈ってくださるのです。

どうぞ、脳裏の片隅にでもいいです。イエス様が、あなたの名前を呼びながら、「この人のために祈ります」と、祈る姿を覚えておいてください。また教会にも、家庭や地域や職場やいろいろな場所にも、あなたのことを思い、いつもお祈りにおぼえてくれている人がいることを、絶対に忘れないでください。

イエス様の祈る姿や、多くの方々があなたのために祈る姿は、目には見えないかもしれませんが、事実、祈られているのです。そのことを信じ、希望をもって日々を過ごしていきましょう。大丈夫です。イエス様は共にいてくださいます。

### 桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

Tel/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>